

大学院
(男女共学)

大 学

短期大学部

高等部

中学部

小学部
(男女共学)

幼稚部
(認定こども園・男女共学)



Contents

- ごあいさつ … 2～4
- 客員教授のご紹介 … 4
- 夢をかなえるセンター特設サイトの紹介 … 4
- 特集 キャンパスの桜のご紹介 … 5
- 特集 入学式報告 … 6～7
- 学園各部報告 … 8～10
- 同窓会だより／谷崎先生叙勲受章 … 11
- マーガレット募金 … 12



見つめる人になる。見つける人になる。



相模女子大学

CAMPUS NEWS

コロナ禍を越えて、 次のステップへ

学校法人 相模女子大学
理事長
風間 誠史



2021年度より、佐々木前理事長の職を引き継ぐこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

2020年は、新型コロナウイルス感染症が世界を駆け巡り、世の中を一変させました。本学園においても、授業や行事を通常通りに行うことができず、試行錯誤の日々が続きました。それでも教職員の皆さんの努力で、学園の教育を維持できたことに感謝したいと思います。

本学園にとって2020年は、1900年の日本女学校創立から120年の節目であり、また「Sagami Vision 2020」の目標年度でもあったわけですが、正直なところ、それどころではない1年間だったと言わざるを得ません。

しかし逆に言えば、この1年で私たちは多くのことを学びました。限られた条件下でいかに授業を行い、教育を充実させるか、日々模索をし、特にオンラインの活用については大きく進歩したと思います。その意味で学園の教育力は格段に向上したはずです。また、「対面」に制約が続く中で、人と人が出会い、触れ合う学園生活の大切さを本当に身に染みて感じたことも、大きな学びだったと思います。学生・生徒たちも、あらためて学ぶことの意味や学園生活のかけがえのなさを真剣に考えたのではないのでしょうか。

コロナ禍の今後は未だに見通せませんが、いずれ収束に向かうはずです。その時に、「元に戻る」のではなく、コロナ禍での経験を生かし、オンラインの利便性を活用しながら、同時に「対面」のある学園生活をより充実させることができるよう、次のステップへと進めるよう、今何をすべきかを考えつつ日々を過ごしていきたいと思います。

学び続けること

相模女子大学・相模女子大学短期大学部
学長
田畑 雅英



本年4月より相模女子大学・相模女子大学短期大学部学長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度はコロナに明け、コロナに暮れたといってもよい状況でした。あらためて医療従事者の方々に深い感謝を捧げますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。本学においても、オンライン授業の導入をはじめ、可能な限りの授業・教育の維持に努めました。安全最優先の観点から、対面での授業や課外活動を制限せざるを得なかったこと、大学で友人や教員と存分に語り合っていただけなかったことは、たいへん心苦しく思っております。本年度も、感染症の収束はまだ見通せず、状況を見ながらの授業展開とならざるを得ませんが、本学のキャンパスライフを可能な限り実感していただけるよう努力していきたいと思っております。

今回の事態を通して、あらためて人と人のつながりを考え直すことになりました。当たり前と思っていた友人との交流や、故郷に帰って親戚や旧知の人たちと親睦を新たにすることが、決して当たり前ではないと知り、あらためてその貴重さ、大切さを感じる機会になったと思います。オンラインを介した新たな対話や交流の方法も、今回の事態で急速に普及しました。それぞれのよさは当然にあるのですが、直接に相手の顔を見て、表情やしぐさ、声の調子の微妙なニュアンスを感じ取りながらの対話は、やはりコミュニケーションの基本だと思います。

とはいえ、どのような時にも、それを成長の糧とし、新たな自分との出会いを求めていく姿勢で、学び続け、前向きな姿勢で経験を重ねていくことが大切です。相模女子大学・相模女子大学短期大学部が、多くの友人や教師たち、そして何より新たな自分との出会いの場となるよう願っております。

2021年度を 迎えて

中学部・高等部
校長
原野 聡美



中学部・高等部は4月6日（火）に入学式を行いました。新型コロナウイルス感染症防止対策として、保護者の方の出席は1名ずつ、在校生と来賓の出席はなく、午前（高等部）と午後（中学部）に分けて実施しました。中学部73名（うち内部進学者23名）、高等部354名（同59名）の新入生を迎え、全校生徒数は中学部214名、高等部946名、合計1160名となります。

新型コロナウイルスは、学校生活にも大きな変化をもたらしました。私はこれを、プラスに受け止めたと思っています。定着まで3～5年かかるだろうと見込んでいた「ICTを活用した授業づくり」が急速に進んだことや、学校行事の中止が相次ぐ中で、生徒たちが当事者意識を持つて新しい行事を企画・実行したことなど、これからの時代の学校をイメージすることができたからです。

学園では2025年度までの中期計画がスタートしました。中学部・高等部は、今述べたような変化を追い風にして、根拠に裏付けられた実践をとおして、生徒の学力を確実に向上させる学校になることをめざします。

「人間の脳は何歳になっても成長を続ける」という、ここ20年来の研究で明らかになった事実を踏まえ、「努力こそが自分を育てる」という「しなやかマインドセット」と、「自分は他の誰とも比較されることのない、かけがえのない存在である」という「自律的自尊感情（自己肯定感）」を醸成し、すべての学びの基礎となる読解力を育てながら、社会に関心を持ち積極的に関わる機会を用意し、豊かな知的好奇心をもつて探究する環境を備えるとともに、これらをとおして非認知能力やメタ認知能力を育んでいく。——「見えない学力」とも呼ばれるこのような力が、生徒たちを「自律した学習者」へと成長させ、その結果としてテストの点数や学業成績などの「見える学力」も確実に育っていく。——このシナリオを着実に実現し、本校を選んだくださった生徒や保護者の皆様の期待に応えたいと思っています。

2021年度の スタートにあたって

小学部
校長
川原田 康文



2020年度は、新型コロナウイルスの影響で例年実施してきたことがなかなかできない状況にありましたが、できることをできる形で行おうと、知恵を出し合い、子どもたちのために取り組んでまいりました。今年度は4月12日（月）に入学式を行い、84名の1年生を迎え、全校児童数は男子184名女子268名計452名で2021年度をスタートします。昨年度から取り組んだ探究の学習では、子どもたちがそれぞれのテーマに沿って、調査・実験などを行いながらまとめ上げ、素晴らしい取り組みとすることができました。価値ある活動を通して、アクティブに物事を探究する行動力を育てるプログラムとなると考えています。

2021年度からの5年間は、小学部のこれまでの取り組みの一層の充実を図りつつ、次の5項目を重点に掲げ教育を展開します。①子どもたちの成長を第一に教育活動を展開する、②子どもファーストで考える、③学習を関連させ、高め合う学習カリキュラムの構築と実施、④個性的な学びを通して、しっかりとした成長を保証する、⑤教員一人一人のアイデアを結集させる、の5つに取り組めます。

そのために、昨年度から取り組み始めた教職員に対するコーチングスキルの定着を行い、「自分からできる子」の完成をめざします。そのサポート力を基礎にして、多彩な教育プログラムを駆使して、毎日の学習に格子状に連携させて実施していきます。具体的には、「コミュニケーションスキルと生きる力を育む『つなぐ手』の学習」「各学年で行われている体験学習や宿泊学習」「学校行事」を縦軸に、「LEGOを使うたプログラミングのSTEAM学習」「思考ツールとしてのICT機器の活用」「海外にある姉妹校との交流」「使える英語をめざしたオンライン英会話」「表現力を豊かにするイングリッシュスピーチコンテスト」「探究の学習」を横軸として組み込み、子どもたちをさらに大きく成長させていきます。

常に子どもたちの未来を考え、笑顔と大切に、教職員が「One Team」となり、毎日の積み重ねを大切にしながら愛情と情熱を持って教育活動に邁進してまいります。今年度も保護者の皆様の暖かい支援・協力に程よくお願い申し上げます。

新年度を迎えて

認定ことも園 幼稚園
園長
齋藤 正典



幼稚園の2021年度は、93名の新入園児と6名の新任専任職員を迎えて始まりました。2020年度はコロナで始まりコロナで終わる1年間となっていました。また、コロナ感染対策を考え、工夫しながら開園を続けていく中で、安全・衛生面に関する様々なノウハウを身につけてきました。また、動画配信や保護者とのリモート面談など、これまで行っていなかった対応もできるようになりました。今年度は、できる限り通常の教育・保育を行っていくことを予定しておりますが、幼稚園の生活における子どもの安全と、豊かで多様な経験の保障をいかに両立させていくのかが大きな課題であると考えています。

また、2021年度は新しい中期5か年計画の初年度になっています。旧・中期5か年計画(Sagami Vision 2020)では、子どもの主体の教育・保育と子どもの人権を大切にする教育・保育の実現に向けて、幼稚園独自の教育指針である「幼稚園つなぐ手」を作成し、教育・保育のリフォームに取り組んできました。また、特色ある教育・保育として、インクルーシブ保育、ICT教育、食育、異文化教育、造形・表現教育などの導入に力を入れてきました。新・中期計画においても、これまでの取り組みを継承し、さらなる質の向上と深化を目指していくために、旧・中期計画での5年間の実践を見直し、「幼稚園つなぐ手」のブラッシュアップを図っていきたくと考えております。また、コロナ禍において、先送りになっていた「児童発達支援事業」実施の可否についての検討も開始していく予定です。

コロナ禍での出産数の激減により、少子化にますます拍車がかかっています。また、保育料の無償化による、保護者の2号認定シフト(1号認定での入園希望者が減り、2号認定での入園希望者が増加)の傾向も顕著になってきたように感じています。幼稚園がこれまでもずっと選ばれた園となるべく、その教育・保育の質の確保と向上に向けて、今年度も教職員一同精進してまいります。

夢をかなえるセンター特設サイトの紹介

学生による学生のための運営サイト 「夢をかなえるセンター特設サイト」がオープン!!

学生による学生のための運営サイト「夢をかなえるセンター特設サイト」がオープンしました。このサイトは、学生が参加している社会貢献活動や国際教育の紹介、参加の際に必要な情報をまとめ、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の学生の皆さんに、より積極的に正課外活動へ参加していただき、そしてその成果を様々な方にご覧いただけるようにオープンしました。

本学の正課外活動は、「Sagami チャレンジプログラム」という学生支援プログラムに則って行われます。

ぜひ特設サイト内の「Sagami チャレンジプログラム」および「Sagami チャレンジプログラムシラバス」をどうぞご覧ください。



「夢をかなえるセンター特設サイト」
はこちら

学生の手によって運営!
2020年度に発足した
「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」
の学生が主体となって
運営してるがっば。



客員教授のご紹介

本学では、各界の第一線で活躍される方を客員教授としてお招きしています。授業・講演会を実施し、多くの学生や一般の方々が受講しています。



加藤 芳夫

クリエイティブディレクター。サントリーの飲料「なっちゃん」、「C.C. レモン」、「ボス」、「天然水」、「デカビタC」、「伊右衛門」などの商品化、デザインを担当。(公社)日本パッケージデザイン協会元理事長、現在専務理事。

相模女子大学 キャンパスの桜のご紹介

キレイ
がっぱ！



本学の桜が今年も見事に咲きました。

キャンパス内では、百年桜をはじめ、フランス庭園や 1 号館裏など、どのスポットも桜が美しく咲き乱れました。

例年、地域の方々にも楽しんでいただけるようキャンパスの見学や花見会を実施していますが、現在、新型コロナウイルス感染防止のため、学外の方の入構をお断りしています。少しでも本学の桜を楽しんでいただければと思います、今年の桜の様子をお届けいたします。

動画でも配信しておりますので、ぜひ QR コード（※）よりご覧ください。
新型コロナウイルス感染症が収束した際は、ぜひお越しください。

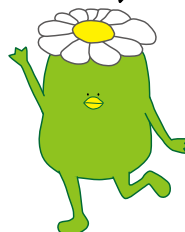


オンライン桜見学
(YouTube)

相模女子大学の
桜は
有名がっぱ！



毎年、
地域の方々が
たくさん来て
くれるんだ！



フランス庭園



百年桜



11 号館前



1 号館裏



中学部・高等部本校舎前

みんなと
会いたい
がっぱ！！



相模女子大学学園 キャラクターのご紹介 さがっぱ・ジョー

相模女子大学の学園キャラクターの「さがっぱ・ジョー」。学生から発案されたキャラクター。

ジョーは、フランス庭園の池に住みついている精で、学園を見守っている伝説の生き物！おしりはぷりぷりで美脚。基本は池のまわりにおいて、敷地内をお散歩するのが日課。学園キャラクターとして、学園のみんなに知ってもらえたらうれしいです！

ジョーの Twitter と Instagram があるがっぱ！



さがっぱ・ジョー
Twitter @SagamiCharacter



さがっぱ・ジョー
Instagram Joe_sagappa



【名前】さがっぱ・ジョー (joe sagappa) 【性格】とても温厚で人懐っこい 【誕生日】10月18日

【友達】やぎのパンラ(ずっと友達)、カモ 【好きな食べ物】抹茶 【好きな花】マーガレット 【棲家】フランス庭園の池、ピオトープ

※「QR コード」は株式会社デンソーウェブ様の登録商標です

特集 2021年度 入学式

大学院・大学・短期大学部 入学式

4月7日(水)、相模女子大学グリーンホールにおいて、相模女子大学大学院・相模女子大学・相模女子大学短期大学部の入学式を挙行了しました。

入学式は、学部ごとに午前・午後に分かれて挙行され、午前の部では、栄養科学部・人間社会学部、短期大学部の新入生が、午後の部では、社会起業研究科、学芸学部の新入生が、晴れの日を迎えました。

式典は、新型コロナウイルス感染防止のため、新入生と教職員のみの参加とし、例年よりも短いプログラムで進行されました。田畑雅英学長より「新入生を迎えることば」が述べられ、風間誠史理事長、田中百子同窓会(翠葉会)会長より「お祝いのことば」が式次第に添え



式典の様子



田畑雅英学長挨拶

られました。新入生代表による宣誓では、これからの大学生生活への決意をしっかりと述べる姿に頼もしさが感じられました。

式典終了後には、新入生歓迎プログラムとして、アカデミックガウンの紹介が行われた後、夢をかなえるセンターの活動が紹介され、学生と職員の協働による「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」より、様々な社会貢献活動やキャンパス留学等の体験談が紹介され、新入生へメッセージが贈られました。最後に、クラブ活動の学生等による新入生を歓迎する動画が紹介され、特別ゲストとして、学園キャラクター「さがつば・ジョー」もお祝いに駆けつけ、会場を大いに盛り上げました。



アカデミックガウンの紹介



新入生代表による宣誓



学園キャラクター「さがつば・ジョー」



「サガジョ盛り上げ隊プロジェクト」による活動紹介

高等部 入学式

4月6日(火)午前、中学部・高等部体育館にて、高等部入学式を行いました。今年は春の訪れが早く、満開の桜のもとでの入学式とはなりませんでしたが、桜の若葉のように新鮮で活き活きとした表情の新入生354名を迎えることができました。実施に当たり式の内容を精選して時間を短縮し、一つ一つの席の間隔を広く取り、換気や除菌など、感染症対策に努めました。新入生の皆さんには、3年間で満開の桜を咲かせてほしいと願っています。

(内藤)

飛躍を誓います



真剣なまなざし

中学部 入学式

感染症対策として高等部と時間をずらし、4月6日(火)午後の実施となった入学式。中学部新入生73名が中学部の一員となりました。緊張の面持ちではありましたが、一人一人がそれぞれの思いを胸に、新たな一歩を踏み出しました。新入生代表の佐々木莉紗さんの言葉の中に、「学校生活を送るうえで、仲間との助け合いは欠かせません。仲間とともに頑張っていきたいと思っています。」とありました。新たな出会いを大切にしたい、これからの学校生活を仲間とともに歩んでいきたいと思います。

(中間)



新入生代表の言葉



希望を胸に

小学部 入学式

令和3年度の小学部新1年生は84名(男子37名、女子47名)を迎えました。小学部始まって以来の最も多い1年生の入学です。

新型コロナウイルス感染症対策として、式そのものの在校生の参加は、挨拶をする6年生代表児童と新1年生の兄弟関係児童のみとしました。しかし、例年行われている入学式入場時の6年生による1年生のエスコートは、最高学年の6年生の意識向上と1年生との関係作りのために例年通り実施しました。

今年は、3月に入学体験会を行いました。そこで、担任やクラスの友だちとの顔合わせを終えていたこともあり、入学式の中で自分の名前を呼ばれると、とても大きな返事ができた1年生でした。

校長先生のお話では、ロボットの Pepper が登場しました。校長先生と Pepper の掛け合いという形で話が進むと、子どもたちも自然と笑顔になっていきました。

6年生の挨拶の中では、ヤギのバナラソングの紹介も行いました。歌の中で行う振り付けも参加している在校生が披露しました。

コロナ禍の中にあっても心温まる、思い出に残る入学式になったと思います。

(澄井)



元気よく返事をする1年生



1年生を迎える6年生



校長先生と Pepper の挨拶



入場する1年生と6年生

幼稚部 入園式

幼稚部では毎年入園式が2回行われています。今年度も4月1日(木)には2、3号認定、4月9日(金)には1号認定の園児それぞれを迎える入園式が行われました。柔らかな春の日差しに包まれながら、お日様からも「おめでとう」とお祝いの言葉をもらっているような温かい時間が流れていました。

4月1日(木)の入園式は可愛い泣き声が聞こえたり、スヤスヤと眠る姿が見られたりとのおんびりとした雰囲気の中、一人一人の名前が呼ばれました。4月9日(金)の3歳児の入園式では、時折職員の声掛けに反応したり、笑ったりと賑やかな式となりました。

他者と関わりながら、様々な経験を重ね、自分らしく生きていく基盤を作る幼児期。一日の活動時間の多くを幼稚部で過ごすことを思うと、責任の大きさを改めて感じています。「そのままでいいのよ」と一人一人の姿を温かく受け止めながら、様々な経験が多くの学びに繋がっていくよう、幼稚部と保護者の皆様と手を取り合って大切な時間を刻んでいきたいと思っています。

(渋谷)



ご入園おめでとうございます



4月9日 1号認定入園式



4月1日 2・3号認定入園式

学園各部 報告

大学院・大学・短期大学部

栄養科学部健康栄養学科の考案レシピが宇宙日本食の認証を取得しました

本学と株式会社サガミホールディングス、石田缶詰株式会社の三者共同により研究開発した「サガミ純鶏名古屋コーン味噌煮」が、宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）より「宇宙日本食」としての認証を取得しました。

社会貢献に関する連携協定を締結している株式会社サガミホールディングスからの依頼で、「八丁味噌、たまり醤油、鶏肉」を使用して名古屋らしい味を出すというテーマをもとに、2017年より栄養科学部健康栄養学科の水上由紀教授と本間祐子専任講師を中心に、学科で宇宙日本食のレシピの研究開発を開始しました。有志学生は、3年間で合計37種類のレシピを考案しました。

その後、株式会社サガミホールディングスと石田缶詰株式会社により味付け・加工等の検討が行われ、最終的に「サガミ純鶏名古屋コーン味噌煮」としてJAXAへ



研究開発の様子

申請し、保存性や衛生性などの様々な審査を受け、宇宙日本食として認証されました。

考案した宇宙日本食は星出彰彦宇宙飛行士の搭乗した宇宙船に搭載され、4月24日（土）、ISS（国際宇宙ステーション）に到着しました。

（連携教育推進課）



健康栄養学科考案レシピ

コロナ禍での作品制作と発表

2020年度ファッションショー及び卒業制作

生活デザイン学科では授業の運営に加え、学修成果の学外への発表についても検討を重ねてきました。ファッションショーは4月から定期的にオンラインミーティングを行い、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で作品制作。発表については例年のようなショー形式は困難なため、各シーンのイメージに合わせて動画を制作しYouTubeで公開するという方法をとりました。

卒業制作はオンラインと対面の併用で授業を運営。作品のプレゼンテーションでは発表の様子をWEB会議システム「Zoom」でライブ配信、さらにレコーディングして全員が視聴できるようにするなど、極力少人数に抑える対策をしました。卒業制作展は学内にて関係者のみに公開。展示会場を分散し密を避ける、順路マップを作成し入退室の時間を記録するなど、学生が主体となって感染症対策をデザインし運営しました。同時にWEB

上での展示も企画し学内展示の後に一般公開しました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くのイベントを中止にせざるを得ない状況となりましたが、一方で授業運営や作品発表において新しい可能性を発見できた一年でもありました。

（生活デザイン学科・牛尾）



ファッションショーの配信動画



卒業制作展 学内展示の様子

カゴメ株式会社×神奈川県×

相模女子大学による産官学連携活動

「野菜がとれるおやつ・スイーツレシピコンテスト」最優秀作品が商品化されました

カゴメ株式会社と、神奈川県、本学による産官学連携活動「野菜がとれるおやつ・スイーツレシピコンテスト」で最優秀賞を受賞した、健康栄養学科2年生の考案レシピ「片手でぱくっと！ゴロゴロ大根パイ」の商品化が決定し、レンブラントホテルのアンテナショップ「レンブラントホテルのカテッセン」で販売、また「レンブラントホテル海老名」で「レンブラントホテル東京町田」のレストランでバイキングメニューとして提供されました。

また、最優秀賞を含む優秀レシピとして入賞した5作品については、JA相模原市の直売所等でレシピを配布しています。

（連携教育推進課）



最優秀賞
「片手でぱくっと！ゴロゴロ大根パイ」

「まだだ未来ビジネスアイデアコンテスト2020」にて学生が、大賞及び準大賞を含む4つの賞を受賞しました

2月20日（土）「まだだ未来ビジネスアイデアコンテスト2020」最終審査会がオンラインで行われ、相模女子大学の参加チームが多くの賞を受賞しました。英語文化コミュニケーション学科小泉ゼミからは「義務から主体的コロナ対策へ楽しみながら意識変化する三密回避GOODS」が大賞、「4 Heart 4 You」で創るおしゃれな広場カリヨン広場再開発プロジェクト」がオーディエンス賞を受賞し、社会起業研究科修士課程からは「食卓救急〜気分だけでもGOTOOKY〜キャンペーン〜」が準大賞を、「キューン♡イヤカフキャッチャー」がきらぼし銀行賞を受賞しました。

本コンテストは、町田新産業創造センター及び市内の創業支援施設の共催で、ユニークなアイデアや技術を持つ学生や起業家等と地元の企業を結びつけ、新たなビジネスの創造を目指すことを目的として毎年開催されているコンテストです。指導した小泉京美教授からは「出場した学生2チームとも、緊張感にも負けず、4か月間準備したものを全て出し切り、

審査員の方からも高評価を頂きました。」とのコメントを、依田真美准教授からは「コロナ禍での外食や新技術の応用と、難しいテーマに取り組みました。カスタマーの心理的ニーズを丁寧に分析した」と斬新な発想が、高い評価につながったと思います。」とのコメントがありました。

(社会起業研究科・英語文化コミュニケーション学科)



オーディエンス賞 川口朋香さん、川田桃菜さん、坂口絵梨さん (3年生)



大賞 加門由麗さん、光藤彩映子さん、藤間彩衣さん、寺岡夏鈴さん (3年生)

中学部・高等部 マスクに負けないコミュニケーション の工夫を

高等部には354名(10クラス)の新入生が入学しました。例年は入学直後に宿泊オリエンテーションを行っていますが、今年度は感染対策を考慮して校内でオリエンテーションを行いました。初日は教



積み木自己紹介

本年度より中学部・高等部では、生徒の主体性と確かな学力の確立を目指す教育活動の取り組みのひとつとして、新たな学習サポートシステム「まなLab(まなラボ)」を導入します。中学部1年生、高等部1年生は全生徒必須、中学部2、3年生と高等部2、3年生は希望者対象で、生徒は常駐のサポーターからアドバイスをもらいながら学習計画を立て、チューターに対面、オンラインで質問ができます。またAI教材「atama+」の利用もできます。

本スタートに先立ち、希望者を対象に2月よりプレ開室し、その間、利用時間の最長記録は現高等部2年生生徒の50時間40分(1回平均2時間40分)、「atama+」の

放課後学習サポートシステム 「まなLab」本格始動!

室で「積み木自己紹介」や「さがっぱ辞典」翌日は青空のもと「学園内オリエンターリング」といった企画を実施しました。コミュニケーションをする上で大切な「顔の表情」は、マスクで隠されている状況ですが、生徒たちは友人の発言に大きくうなずいたり、大きなジェスチャーや豊かな目の表情で伝えたりと工夫して取り組んでいました。自分とは異なる考えや背景を持つ仲間に関心を持ち、自分の気持ち、自分の素直に出せる人間関係を作っていくってほしいと思います。

(荒井)



スタンプラリー 百年校で
*撮影時だけマスクを外しました



じゃんけん



背中に書かれたものを、
周りの友人に質問して
当てていきます

(中学部・安藤)

最初にはウオーミングアップとしてクラス対抗でボール送りを行いました。その後、全員での自己紹介やじゃんけん大会、背中に貼られた文字を当てるために、出会った友達に質問していく「私は誰でしょう」ゲーム、そして最後に「ペーパータワーをつくらう」というゲームを行いました。最初のレクリエーションとしてみんなが楽しみな参加してくれていました。

これからも1学年全員が自分たちで様々なことを考え、協力し合いながら共に成長していくことができるように支援してまいります。

中学部新入生レクリエーション

4月10日(土)の1・2時間目に中学部・高等部体育館でレクリエーションを行いました。新入生は入学して以来、学年の友達と交流する機会があまりなかったたので、親睦を深めるという目的で行いました。

(武石)



集中しています

小学部 小学部の新しい教育活動「探究の時間」

昨年度から小学部では、新しい教育活動として、「探究の時間」がスタートしました。

これからの世界を生き抜いていく子は、やりたいことを明確に持ち、工夫して、問題を解決する力を持っている子です。学校教育も、教科の枠やレベルを超え、個人の力を伸ばす教育活動が必要と考え、登場したのが「探究の時間」です。4年生以上の児童が研究テーマを持ち、一年間、自分のテーマを探究します。そして、3月には、「探究発表会」が行われました。

「自分が好きな食べ物ばかり食べていくと人はどうなるのか」「どうしたら朝早く起きるのが大変でなくなるのか」といった素朴なテーマから「真田信之は、真田幸村よりも人気になれるか」「寿司における魚の捌き方は、どのようなものか」といったかなり専門的な内容



4年生探究発表



6年生探究発表

まででありました。
発表会では、全員がiPadを利用してプレゼンテーションを作り、発表しました。まだまだ、指導改善の余地はありますが、初年度の子どもたちの発表は、今後の発展の可能性を十分に感じることができた内容でした。

(澄井)

久しぶりに全校で楽しんだ「6年生を送る会」

昨年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から小学部の教育活動の特徴である「縦割り生活班の活動」が思うように行えませんでした。それでも、卒業していく6年生に、感謝の気持ちを伝えようと、5年生が中心になって準備をして、「6年生を送る会」が開かれました。密な環境を避けるために、屋外での実施です。雨天にならないことを願って当日を迎えましたが、子どもたちの願いが通じて、見事な快晴でした。



下級生に囲まれる6年生



垂れ幕が降ろされて歓声があがる

久しぶりに全校児童が校庭に集合すると、在校生の拍手の中を歩いて6年生が入場。司会の「6年生ありがとう」の言葉と共に、屋上から大きな垂れ幕が降ろされ、歓声が上がりました。
その後、縦割り班ごとにクイズラリーを実施。学園内にいる先生方を見つけて、クイズを解きながら、6年生へのプレゼントを探すという企画でした。暖かい春の日差しの中、とても楽しい時間を過ごしました。
今年も、下級生に囲まれて、楽しそうに活動する6年生の姿を見て、卒業前にこのような時間がとれたことをうれしく思いました。

(澄井)

認定こども園 幼稚部 新学期がスタートしました

4月1日(木)より新学期がスタートしました。今年度は93名の園児が新たに幼稚部の仲間に加わりました。

0、1歳児クラスは毎日泣き声の合唱。保育者は子どもをあやしたりミルクを飲ませるなど、丁寧に保育を行っています。泣き顔の合間に見せる子どもたちの笑顔は、得も言われぬ可愛さです。

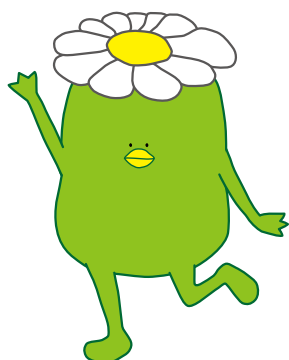
2、3歳児は新入園児と進級園児が一緒に生活が始まりました。環境の変化に戸惑いつつも、新しい友だちや保育者と過ごす時間を楽しみ始めています。

4、5歳児は進級した喜びを感じながら友だちと一緒に好きな遊びに取り組んでいます。昨年度と同じ遊びをしていても、遊び方に変化が見られ成長を感じます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で思うような保育が出来ず、幼稚部としてもとても辛い思いをしたことが何度も



0、1歳児クラスの様子



元気いっぱいの子どもたち

ありました。今年度もまだ様々な配慮が必要な状況が続いていますが、子どもたちの笑顔が溢れる日々が続くよう、職員一同尽力していきたいと思っています。
(井原)



マーケティングプランナーになるまで 渋谷 和美

(昭和 61 年学芸学部食物学科食物学専攻卒)



在校生の皆さんは、マーケティングプランナー(マーケター)という職種をご存知でしょうか?例えば、「あったらいいな!」のニーズに応えたり、「今までにないものをゼロから考えて実現させる」、消費者の生活をより豊かにするためのマーケターという職です。

栄養士でありながら、調理はしないマーケティングプランナーになったお話をします。

■きっかけは大学のゼミ

家政学言論「消費者問題」に造詣が深い、恩師木村静枝先生に入門したことが、今の私に繋がっています。

■栄養士を取得

「食べることは古い細胞を入れ替えること」(生物学者ルドルフ・シェーンハイマー)この教えに感銘受けました。

■食品メーカーへ就職

入社希望は栄養士ではなくマーケティング部(マーケ)でした。マーケは「ゼロから商品を生み出し育てる」立場にあります。魅力的な商品の企画・開発をし、販売戦略を立て、広報・宣伝まで全般をこなします。食品メーカーでは、実践マーケティングをハードにこなし、10年叩き込みスキルを磨きました。

■念願のマーケターとしてマーケティング会社へ転職

ここでは得意な食品関係や、女性ならではの商品企画・開

発、未来を予測するコンテンツを考えています。例えば、縦列駐車が苦手な女性が運転する、お買い物カーの開発/受験生を持つ母親が願う、夜食にやさしいカップラーメン/コロナ禍の中、不規則で乱れがちな自律神経を整える入浴剤など、ターゲットとコンセプトを明確にしたプランニングをしています。

キャリアアップして肩書きはマーケターに加えアートディレクター/フラワーマスターディプロマ(写真)デザイナーにもなり、歴 25 年の現役です。

■マーケター魂

「当たり前を疑う」「思い込みは捨てる」マーケターには必要なことです。また「心が震える体験」が、発想力を豊かにし、増々人生を楽しんでくれます。私は日頃より絵画・芸術・華道・文化・伝統・建築・日本料理・陶器・音楽など興味関心を多く持ち、常に五感を意識しながらセンスアップできるよう、丁寧な生活を心掛けています。

私のモットーは「生涯、センスと感性を磨き続ける!」です。

■若い知性と発想力の豊かな皆さん

大学で学んだ教養や資格を活かしつつ、個性豊かに特技を発揮され、卒業後の長い人生が幸福でありますよう願っております。

故谷崎昭男 元理事長が 旭日中綬章を受章



本学の元理事長であり、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の元学長である谷崎昭男先生(令和元年 10 月 26 日逝去)が、「旭日中綬章」を受章されましたので、謹んでお知らせいたします。

位記、勲記および勲章について、大学にて、佐々木勝洋前理事長からご遺族へ伝達が行われました。

旭日章とは、国家又は公共に対し功労のある方で、顕著な功績を挙げた方に授与されるもので、旭日中綬章は、旭日章の中でも旭日大綬章、旭日重光章に次ぐ勲章です。

2020年度マーガレット募金決算報告

マーガレット募金の収支について、下記のとおりご報告いたします。ご支援いただきました皆様へ厚くお礼申し上げます。
今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

マーガレット募金委員会委員長 竹下 昌之

自2020年4月1日 至2021年3月31日

収入の部		
募金内容	件数	金額
学習活動支援	348	3,338,771円
キャンパス整備	69	1,477,738円
教育・研究活動支援	52	301,211円
さがっばジョーの活動支援	16	55,000円
指定なし	250	4,095,251円
計	735	9,267,971円
前年度繰越金	-	47,702,061円
合 計	-	56,970,032円

支出の部	
募金内容	金額
学習活動支援	2,478,797円
キャンパス整備	0円
教育・研究活動支援	182,840円
被災学生授業料等支援	1,436,000円
高等部白木祭	1,074,000円
計	5,171,637円
翌年度繰越金	51,798,395円
合 計	56,970,032円

■活動内容

「学習活動支援事業」 募集（応募3件 採択2件） 「教育・研究活動支援事業」 募集（応募1件 採択0件）
継続（採択2件） 継続（採択1件）
「キャンパス整備事業」 募集（応募1件 採択0件） 「特色ある教育への支援」 申請（実施3件）

■寄付者ご芳名（敬称略、五十音順）※ 氏名等の公表についてご許可をいただいた方のみ掲載しております。

個人（計188名、うち匿名希望71名、未記入24名）

相沢 孝義	青田 明子	青山 紀美代	赤司 孝子	足立 昌子	敦岡 幸枝	有田 雅一	飯塚 瑞英	五十嵐 絵理子
泉 邦寿	稲毛 義則	井上 聡	井上 千恵子	入野 千恵	岩本 明子	梅林 博人	大塚 紀幸	大橋 敏子
男鹿 さとみ	岡部 真理子	岡部 とし子	奥貫 紀文	奥村 裕司	小田中 好則	笠原 浩司	風間 誠史	片岡 朋子
加藤 浩子	金井 美恵子	金森 剛	神子 千鶴	上條 美和子	亀山 永子	川上 文彦	河内 りえ	木根淵 由美
倉持 洋子	小泉 京美	児玉 小百合	後藤 和宏	小南 洋介	崔 真里	齋藤 淳志	齋藤 秀磨	佐賀 弘美
佐光 裕子	澤藤 桂	穴野 綾子	品川 利夫	菅原 剛	鈴木 智子	澄井 俊哉	高木 紀彦	高柳 誠
竹下 昌之	田中 永子	田中 百子	丹野 恵里	津久井 衣利子	堤 ちはる	鶴田 清美	寺前 真紀	富樫 慎治
豊田 真美	永井 敏雄	中島 美千代	中島 和彦	仲野 寛	新平 鎮博	西澤 陽子	長谷川 素美	服部 明
速水 俊裕	原野 聡美	播磨 明宏	平井 昭彦	平田 藍子	藤田 絹子	松岡 克典	松草 勝之	松原 尚子
水上 由紀	望月 美智子	森平 直子	森田 晃一	森田 直美	柳沢 香絵	山口 昌彦	山中 茂	湧口 清隆
湯澤 宏行	吉村 晶子	渡邊 雅史						

法人および団体（計5件）

神奈川ファイリング株式会社
相模女子大学同窓会(翠葉会)

相模女子大学高等部白木祭クラウドファンディング
相模女子大学教職員有志一同

株式会社3・SUN・TREASURE

ご寄付のお願いとお申込方法について

マーガレット募金

本学園の継続的な発展を目的とし、2008年度に開設いたしました。

用途について、「学習活動支援」「キャンパス整備」「教育・研究活動支援」よりご支援先を指定いただくことができ、また、「目的を指定しないご寄付」もお受けしております。

この中でも「学習活動支援」については、「大学・短期大学部」「中学部・高等部」「小学部」「幼稚部」と支援対象をより細かく指定することができます。

皆様からいただきましたご支援は、ご指定の使い道に従って有効に活用させていただいております。

募金内容

お申込方法 (個人の場合)

- ① お振込（郵便局または銀行窓口） ② 郵送（現金書留）またはご持参 ③ 自動振替での継続
詳細につきましては、大学ホームページ(<https://www.sagami-wu.ac.jp/>)をご覧ください。下記事務局までお問い合わせください。

- 「マーガレット募金」お問合せ先 学校法人相模女子大学 学園事務部 経理課
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 TEL:042-747-9558 FAX:042-749-6500 E-mail:bokin@mail2.sagami-wu.ac.jp
●その他奨学寄付金等のご寄付に関するお問合せ先
相模女子大学・相模女子大学短期大学部 大学事務部 学術研究支援課 TEL:042-747-9570 FAX:042-743-4916